

編集後記

今回の『哲学の探求』第29号に収録されている論稿は、2001年哲学若手研究者フォーラムのテーマレクチャー、「科学時代の哲学」を基にした三本のレクチャー原稿、7つの個人研究発表、そして来年度のレクチャーによる三本の慷慨です。2001年晴海で行われた活発な議論がさらに掘り下げられ、充実した内容となりました。ご多忙なか、この小冊子に寄稿を快諾して下さいました諸先生、研究発表者の皆様には、心より御礼申し上げます。また、『探求』を購入していただいた読者の皆様方、冊子の体裁や盛り込むべき内容等につきまして、率直なご感想・ご要望などぜひお寄せ下さい。そしてこの冊子を、研究者相互の交流の一助として、ご利用いただければ幸いです。最後に、『哲学の探求』28号、および29号の編集作業をすべて引きうけてくださった星屋さん、本当にどうも有難うございました。（『探求』編集渉外担当 西村名徳美）

昨年度に引き続き『探求』編集を務めさせて頂きましたが、今年度もどうかこのページの執筆にたどり着くことができました。今号では試みにバックナンバー一覧を掲載しました。既にHP上でご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、一覽を一瞥すると、もちろん現在一線で活躍している哲学者の名前を数多く見出すこともできますが、若手ゼミ、若手フォーラム、そして『探求』はなんと三十年の長きに亘って哲学を志す研究者に充実した議論の場を提供し続けてきた、という事実改めて驚かされます。歴史の重さに襟を正すとともに、二年間編集者の一人としてこのフォーラムの運営に参加できたことを大変光栄に思います。末筆ながら、忙しい中『探求』に原稿を寄せていただいた皆様、心よりお礼申し上げます。また、西村さんをはじめとする世話人の皆様方には編集作業で大きな助力をいただきました。ありがとうございました。

（『探求』編集エンジニア担当 星屋雅博）